

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 武士	鎌倉幕府は、源頼朝が鎌倉に開いた武士の政権です。
問2	答え 3 西日本	二毛作は、鎌倉時代に西日本で行われた農業の方法です。
問3	答え 2 実力のある者が、上の身分の者にとって代わる動き	下剋上は、身分が下であっても実力がある者が、上の身分の者にとって代わる動きや風潮のことです。
問4	答え 4 防塁	元の2回目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁（石塁）を防塁といっています。
問5	答え 1 びわ法師	平家物語は、びわ法師と呼ばれる人たちによって、語り伝えられました。
問6	答え 2 源義経が率いる源氏の軍が、平氏を追いつめてほろぼしました。	壇ノ浦では、源義経が率いる源氏の軍が平氏を追いつめてほろぼしたことが正しい説明です。
問7	答え 1 北条政子	北条政子は源頼朝の妻で、頼朝の死後に幕府の危機を乗り越えるため、御家人たちを団結させた人物です。
問8	答え 4 定期市	商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場を定期市といえます。
問9	答え 2 北条政子	承久の乱では、北条政子のうったえによって幕府側の御家人たちが団結し、朝廷の軍を打ち破りました。
問10	答え 3 執権	将軍を補佐して政治を行う役職を執権といっています。
問11	答え 3 能	室町時代に観阿弥・世阿弥の父子によって大成された、仮面などを使って演じる伝統芸能を「能」といいます。
問12	答え 4 元の2回目の来襲にそなえて、海岸沿いなどに守るために築かせた。	防塁は、元の2度目の来襲にそなえて、幕府が海岸沿いなどに築かせた守りのための石の壁です。攻撃用や貿易用、山の中のものではありません。
問13	答え 1 商業が盛んになったこと	定期市は、商業が盛んになるにつれて、各地で定期的に開かれるようになった市場です。
問14	答え 3 壇ノ浦	源義経は平氏を西国へと追いつめ、壇ノ浦の戦いで平氏をほろぼしました。
問15	答え 4 足利義満	足利義満は室町幕府の全盛期を支えた将軍です。対外貿易による利益を活用し、北山文化を代表する建築物である金閣を建てました。ちなみに、銀閣を建てたのは8代将軍の足利義政です。混同しないように注意しましょう。
問16	答え 2 独自の武家文化や新しい芸術が発展した	室町時代には、将軍が政治を行う一方で、文化や芸術を大切にしました。そのため、この時代には日本独自の武家文化が生まれ、華やかな芸術が大きく発展することとなりました。
問17	答え 3 御家人	将軍の家来となった武士のことを御家人と呼びます。
問18	答え 2 北条氏	源氏の将軍が途絶えた後は、北条氏が執権の役職について政治を行いました。